

「北朝鮮の核武装がもたらす未来④」

決して想定したくない事ではあるし、可能性は著しく低いと考えるが、米韓同盟と在韓米軍が存在する以上、仮定として、もしアメリカと北朝鮮が核均衡してしまつたうえ、北朝鮮や中国の恫喝や懐柔によって、韓国が核装備を躊躇した場合、アメリカは在韓米軍の撤退を余儀なくされるのではないか。今の文在寅政権なら、そういった有り得べからざることをやりかねない面がある。

核装備を躊躇する韓国では、北朝鮮が核攻撃力を背景に韓国に対して戦端を開く可能性が高まる。在韓米軍が存在する間はさすがの北朝鮮もその勇氣は出ないだろうが、アメリカとしては在韓米軍を守る意思が韓国に無いと断ぜざるを得ないのではないか。そんな危地に米軍を駐留させておく事は出

来ないだろうから、核弾頭搭載潜水艦を日本海に展開させつつ、早期に在韓米軍を撤収させる事になるのではないかと。それはアメリカが実質的に韓国を見捨てるということだ。さすれば北朝鮮は一気に休戦協定を一方的に破棄して韓国へ宣戦布告するだろう。その時にはまだ米韓同盟は存続しているだろうが、機能するとは思えない。韓国は核兵器の前に、戦わずして降伏せざるを得なくなり、北朝鮮による韓国の併合となる。これで文在寅の望んだ朝鮮半島の統一は成る訳だ。それはもちろん北朝鮮支配体制の拡張としてである。

もしそうなった場合、対馬海峡が最前線となり、東アジアのパワーバランスは大きく崩れる。日米の軍事力は中国と朝鮮半島の軍事力に完全に圧倒されてしまう。この兵

力差を埋めるのは大変困難だ。短期的に対応する為に

は、米軍の世界配置を大幅に変更する必要がある。日本は莫大なコストをかけて自衛隊を急速に増強しなければならなくなってくる。その隙に台湾は中国に実質的に併合されてしまう可能性もある。いずれにせよ、日米は軍事力の増強が間に合わず、アメリカも中国に相当譲歩せざるを得なくなり、西太平洋からインド洋にかけての活動はかなり制限されてしまうだろう。中国は ASEAN からオセアニアに対する影響力を強め、日米と豪印は分断され、日本はアジア経済の中で孤立的立場に徐々に追い込まれるだろう。日本国内の政治環境も親米から親中へと大きく傾き、徐々に日米同盟も脅かされ、日本は徐々に経済的にも安全保障上も中国の支配下に組み込

まれていくだろう。

恐るべき予想をしてみたが、これはアメリカの世界戦略の大きな萎縮を迫るものであり、特に中東への関与を阻むものだから、アメリカが簡単にこのような構造に陥ることを許すとは思えない。これはアメリカが韓国を手放せない理由でもある。だからこそ、アメリカは北朝鮮の非核化を迫っている。北朝鮮の非核化が、長期的なアジアの安全性、安定性を高め、コストを最も小さくする方法だろう。

Facebook でも活動報告を行っています。(Facebook アドレス) <https://www.facebook.com/anamiyoichi>

皆様のご意見をお聞かせください! お待ちしています。

あ な み よ う い ち

衆議院議員

穴見陽一

後援会
事務所



〒870-1133 大分市大字宮崎867-18 TEL.097-567-1319 FAX.097-567-2010

<http://www.anamin.net> E-mail:info@anamin.net